

# 2月度 個人山行報告書

報告者; 渡辺

報告日; 05.02.27

山域	奥三河	山行日	05年 02月 26日(土)	参加	CL; 藤田健治 渡辺勝利
山名	大川入山(1908m)		年 月 日( )	メンバー	
山行目的	雪山探訪		(日帰り)		
配布先	ルート図(地図を見て正確に)		2/26 終日快晴	/	/
集会: 枚			7:00 豊田 渡辺宅発		
山行リーダー;			8:50 治部坂こまくさ		
原紙;集会			9:00 登山開始		
担当者			10:25 横岳		
			10:50		
			13:30 大川入山頂上		
			13:55		
			16:00 横岳		
			16:50 治部坂こまくさ		
			19:30 トヨタ渡辺宅着		

5万分の1地図; 中津川

## < 山行記録 >

1月例会が少人数参加のため中止されたため、かねてから一度登ってみたいかった積雪期の大川入山へ藤田部長を誘って出かけることにした。結果は紺碧の空、一面の雪の世界、東には遠くに白銀に輝く南アの連山、北には恵那山に続く中ア、目を南に転ずれば茶臼山を筆頭に奥三河の山々が手に取るような指呼の距離で見渡すことのできる一大パノラマと、久しぶりにアイゼンを着け雪山の厳しさを味わうことのできた大満足の山行となった。(一望すると地平線が大きくアールしており、地球が丸いことと人間、自分の小ささを実感した。)

7時に豊田を出発、スキーシーズンにも関わらず渋滞も全くないうちにデンソーリゾート「こまくさ」に到着。身支度を整え早々に出発する。天気は快晴で初めての積雪期の大川入山への入山に心が躍る。いきなり雪道となるがトレースされており問題はない、が実は踏み跡のない雪面に自分達のトレイルを作ることが一つの楽しみでもあったのだが、その望みは即座に絶たれた。かといって前に人が通ったところをわざわざ外すのも失礼にあたると思ひ直し、遠慮なく使わせてもらうことにして夏道と同じルートを途中でステップをカッティングしたりしながら横岳に到る。(積雪50cm程度)こままでくると山腹の巻き道から稜線となるため、視界が一度に開け、最高の眺望を我々に提供してくれ疲れを癒してくれる。小休後、雪も固くキックステップでは間に合わなくなってきたので、ここでアイゼンを装着する。無雪期ならばここからの稜線はそよ風に吹かれながらの稜線散歩となるが今日は違う。西から容赦なく吹き付ける烈風で顔が痛い。この感覚は長らく忘れていた感覚で冬山の厳しさを思い出させてくれる試練でもあった。途中で下山の2パーティにあったものの、風の音以外は自分達の息ずかひのみの静寂な登降を繰返すうちに最低鞍部に着いた。無雪期はここから右に回りこんでジグザグで山腹を登っていくが、今は目の前の斜面をいきなり直登するルートである。この斜面はだらんとした一面の笹に覆われているため、雪が付くと雪崩の心配をしなければならない場所と前から考えていた場所であるが、特別な大雪でもないかぎり、その心配はなさそうである。相変わらず吹きすさぶ烈風に身を任せながら漸く

頂上にたどり着き、念願の積雪期登頂を果たし固い握手を交わす。さっそく記念写真をとデジカメを取り出してみたものの、寒さで作動しない。改めて電子製品が寒さに弱いことを再認識。(積雪は頂上標識がでていたから1m前後か)頂上では寒くてあまり長居もできず、再び、同ルートを雪山を体感しながらゆっくり引き返す。雪面もクラストしてアイゼンが気持ちよく効き、こまくさまで装着したまま下山。このあと、こまくさで登山の汗を流す段になり渡辺が着替えを忘れてきたことが判明。「好邪魔多し」の典型で大笑。

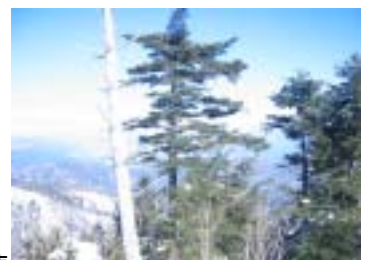
## < リーダ所見 >

タイミングよく渡辺先輩からお誘いを頂き信州大川入山の登頂を果たすことができた。天気予報では日本海側と東北・北海道は大荒れの様子であるが、快晴に恵まれ頂上では360度のパノラマを堪能し充実した山行となった。

## < フリースペース >

山の紹介・スナップ・エピソード・その他自由に

- この1枚はなんとか撮影できた



- こまくさ入浴可能(300円/人)山の汗を流すには便利です

藤田  
05/03/06